

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：大垣市立安井保育園	種別：保育園		
代表者氏名：園長 國枝 美智子	定員（利用人数）：200名（167名）		
所在地：岐阜県大垣市大井1丁目1の2			
TEL：0584-81-1406	HP： <a href="mailto:yasuihoiku@city.ogaki.lg.jp">yasuihoiku@city.ogaki.lg.jp</a>		
<b>【施設・事業所の概要】</b>			
開設年月日：昭和50年4月			
経営法人・設置主体（法人名等）：大垣市			
職員数	常勤職員	21名	非常勤職員 7名
専門職員	保育士	20名	看護師 1名
施設・設備 の概要	乳児室	1室	ほふく室、調乳室、遊戯室、調理室、
	保育室	7室	職員室、医務室、沐浴室

③ 理念・基本方針（※転載）

**【理 念】**

子どもを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

**【基本方針】**

- ◎ 園目標 心身ともにたくましく思いやりのある子
- ◆めざす保育園像  
笑顔いっぱい楽しい保育園
- ◆めざす保育者像  
優しく温かく誠実な保育者
  - ・温かいまなざしで、一人一人の思いに寄り添える保育者。
  - ・一人一人のよさを認め可能性を伸ばす保育者。
  - ・子ども、保護者から信頼される保育者。

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

大垣市の子育て支援計画に従って地域に根差す保育園としての活動を続けている。

2カ月児～5歳児を対象に早朝保育、延長保育を実施している。保育時間内に「わくわくタイム」と称して子どもの興味や関心をとらえて自由に遊べる場と時間を確保している。

3歳児には基本的な生活習慣が身につくようにチャレンジカードを作成して、自らがやろうとする気持ち大切にしている。

地域の未就園児を対象とした「子育て広場ピヨピヨ」を年4回開催し、園庭、保育室を解放している。また、子育て相談に乗ったりアンケートを取って、地域の子育てニーズを取り入れている。

大垣市のスマイルブックを持った「困り感のある」特別支援児に対して担任と加配保育士が相談しながら無理なく集団生活が送れるよう配慮し、月一回少人数保育を行っている。

近くにある安井小学校とは、連携協議会を作り、毎月のように交流活動を行っている。地域に愛される保育園を目指すということから、地域の老人会との交流、老人施設の訪問等、地域との継続的なふれあい活動も行っている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年 6月11日（契約日） ～ 令和2年2月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	—

⑥ 総評

大垣市立安井保育園として昭和50年4月に開園される。現在は定員200名のところ現員167名で、今後は現在の体制に加え職員を増員する予定である。

大垣市の策定する「大垣市第2次子育て支援計画」（平成27年度～31年度）に基づき、その基本理念「子どもが健やかに育ち安心して子育てができるまち」と「子育て日本一のまち」のスローガンのもと、子育て支援課、子育て総合支援センターのバックアップを得て、安井保育園は地域に愛される保育園として日々頑張っている。

「心身ともたくましく思いやりのある子」を基本方針に組み入れている。その目標は、「からだづくり」・・・元気いっぱい遊ぶ子、「心づくり」・・・人や命あるものに優しくかわる子、「自分づくり」・・・自信をもって自ら取り組む子を保育課程に生かして取り組んでいる。

園内は清潔に保たれ、子どもたちが安心して生活できるよう、職員全員が環境整備に協力して、明るい保育園づくりに努めている。

園庭では一人一鉢を合言葉に、夏野菜を始め様々な野菜作りにも挑戦している。未満児スペースは、小さな園児が安全に楽しく遊べるよう花や遊具で区切り確保されている。また、「わくわくタイム」と称して、子どもの興味や関心を捉えて、自由に遊べる環境設定をし、その中で、自由に遊べる時間と空間を保障し、子どもが主体的に活動できるようにしている。さらに、「チャレンジカード」を取り入れ、進んで体を動かすことや挑戦してみようとする意識がたかまるよう、各年齢で取り組みが行われている。外部講師による和太鼓指導も運動グループの活動の一環として、取り入れている。

#### ◇特に評価の高い点

前年度における大垣市幼児教育・保育の方針と重点の達成状況を踏まえ、今年度の幼児教育と保育の方針と重点が策定されている。園ではその方針と重点を踏まえて今年度の園経営計画が策定されている。大垣市の指導の下、こうした計画策定の手順が確立されている。

また、外部の有識者で構成する評議員会を年3回開催し、評議員による評価結果を園関係者評価としてホームページで公表し、次年度の運営の改善に繋げている。さらに、保護者アンケートも年に2回実施しており、保護者のニーズを把握し、必要に応じて職員会議で話し合い、次年度の事業計画に反映させる取り組みも行っている。

人事管理面では、年度初めに保育の心得や望ましい資質・態度について研修を行い、めざす保育者像、めざす保育園像を明確にし、「個人目標管理シート」を活用し目標を明確にしている。前期・後期と年2回の自己評価を行い、園長との面談の中で現在の進捗状況を確認し、目標達成状況の評価を行う取り組みを行っている。

職員育成の面では、大垣市の研究推進委員会研修部の計画に基づき、保育者の職務研修会、経験年研修会、基本研修会や保育実践研修会、調理実践研究会、新規採用保育者研修会等、職階・職種・分野別と様々な園外研修を受講し、資質向上に努めている。こうした研修の実績は、個人毎に研修の受講記録を記した個別表があり、一人ひとりの受講状況を園として把握することができている。また、新規採用職員に対しても「園内研修年間指導計画書」により、計画的な研修指導が行われている。さらに、園内での研修では、クラス毎に順番を決め職員同士による公開保育を行っている。公開保育後には、環境や援助方法について、少人数によるワールドカフェ方式での話し合いを行い、職員の保育の質の向上に努めている。

平成3年以降全面改装された園舎は明るく広くよく整頓されている。理念や保育方針に従って保育計画を立て、子育て支援課との連携・指導の下、保育者職員が一生懸命取り組んでいる。

#### ◇改善を求められる点

保護者が利用する駐車場について、十分に話し合いをして保護者からの理解を得られるよう、より一層の協力体制の保持を期待する。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受けました。園経営計画や各種マニュアルについて、また、日々の保育内容や園内研修のもち方など、改善していくところはないか改めて見直す良い機会となりました。

これからも、『子ども一人一人を大切にし、保護者に信頼され地域から愛される保育園』を目指し、職員一同協力して、より質の高い保育・教育を提供し、子どもたちの幸せのために力を尽くしていきたいと思っております。

#### ⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。